

《ともしび》 投稿募集

言葉 ことば



言葉は、いつの時代も、日々生まれ、また日々消えていきます。
発信ツールの多様化の今、目まぐるしいものがあります。
そんな言葉や使い方で、便利な言葉、好ましい言葉、
新しいことに気づかせてくれる言葉、また反対に耳障りな言葉、
不快に感じる言葉、意味不明の言葉などを、
具体的に例を挙げて、ご意見をお聞かせください。

合成語「育メン」

おかしい言葉です。
語順から言うと「男を育てる」ということになりそうですが、
今は「僕は育メンです」と明るく言えます。
「育メン」「イクメン・プロジェクト」などと、
12年前に労働大臣の音頭取りで広まったコトバだそうです。
性別による役割分担に縛られないという、
大きな理念を背負った言葉です。



過剰敬語

あるチケットを手に入れるために、
早朝から長い列ができた現場を民放の
アナウンサーがレポートしていました。
「朝3時から並ばれた方もいらっしゃいます。
疲れて舗道に寝転んでいる方もいらっしゃいます」
皆さんそんなに尊敬するべき人ですか？
耳障りです。
アナウンサーは話し言葉のモデルでもあります。
特に敬語は勉強してください。

私は夫の介護の日々です。
ケアマネさんと相談して、
ヘルパーさんのお世話になり、
デイサービスに通って、
レンタル用品をリースして、など、
高齢者を社会で支えるという
こんなコトバに、私も支えられています。
介護保険制度のできるまでは、
知らなかったコトバです。

等々…、そのほか、ご自由に。

◎応募要領

テーマ：「言葉 ことば コトバ」

原稿題目(見出し)：ご自由に※

原稿字数：800字以内※

※見出しや本文の用字の調整など、
校閲は編集者にご一任ください。

記載事項：氏名(よみがな)

締め切り：2022年(令和4年)12月25日

掲載予定：『ともしび』73号(2023年3月発行)

◎原稿の 送付先

郵送またはEメールでお願いします。

所属支部、住所、連絡先(固定電話/携帯電話)を記載のうえ送付ください。

(一社) 大学女性協会 東京支部 ともしび投稿係

郵送：〒160-0017 東京都新宿区左門町11-6-101

Email: jauw.tokyo@gmail.com